

確かな学び

高社小の目指す学び合い

「子どもの問いから始まる授業」
～安心のある学習環境を土台に～

- ・自己の思いをもとに「問い」を立て、友と協働して探究する授業を通して、他者とつながる力を育み、物事の深い理解を目指します。
- ・自己の学びの振り返りの充実を図ることで、自己理解を深めるとともに、自分の成長に必要なことを自分で見極める力を養います。
- ・一人一台端末を自分の必要に応じて活用し、情報を整理、発信して、表現する力を養います。

豊かな心

- ・ソーシャルスキル教材、SSE(ソーシャルスキル教育)や学級・学年・異年齢集団での活動を通して、よりよい人のかかわり方を身につけられるようにします。
- ・地域の資源(ひと・もの・こと)を生かす・かかわるクラブ活動や体験活動を充実させ、探究心を培います。
- ・読書活動の充実を基に、メディアと離れることも大切に、「うちどくの日」を位置づけて想像力等を培うとともに、図書館を利用した探究的な学習を進めます。
- ・日々の人権教育、道徳科を充実させて、自己のあり方を振り返りながら人を大切に、人と協力しあう心を養います。

健やかな体

- ・体育の授業、体育集会、運動会、遠足等の活動を通して基礎的な身体能力の育成を図ります。
- ・地域の方と連携し、雪とかかわる活動(スキーや雪遊び)を充実させ雪とかかわる楽しさを育みます。
- ・児童の実態やアンケート等の課題から健康に関する指導を充実させ、身近な生活における健康に関する知識を身につけられるようにします。
- ・家庭とともに子どものメディアコントロールについて情報を共有し、適切にメディアに関わる力を養います。

学校教育目標

広く 高く 豊かに
～ふるさとの山 高社山のように～

目指す児童の姿

自己を見つめ、豊かにかかわり合う子ども

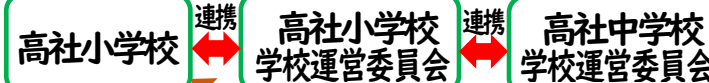
中心課題

「つながる力」をはぐくむ

他者との対話・自己理解・他者理解



学校と共に子どもを育てる地域



連絡・調整

連絡・調整

P T A

高社地区青少年
健全育成会

地域ボランティア

地域団体



高社小の行動目標

生活の姿

- ・友達となかよく
- ・あいさつ
- ・そうじ
- ・時間のけじめ

学びの姿

- かんがえる
【自分で考え、みんなと考える】
- まちがえる
【「わからない」ことを言える】
- ふりかえる
【聞き合い、語り合う】

家庭と連携した ICT 活用

- ・タブレット端末の活用について振り返る場を位置づけ、他者の人権に配慮できるとともに、一人一台端末を必要に応じて活用して学びを深めることができる子どもを育てます。
- ・メディア等の利用について、子どもや保護者との情報交換などを通じて、諸課題を家庭とともに解決します。

高社小中一貫で育む力

高社中ブロックで育てたい児童生徒の姿

- ◆自己実現に向けて、自分の考えをもち、学び合う
- ◆体験・交流活動を通して、健康で豊かな心と体を身につける

大切にしていく3つの連携の柱

- <学びの連携> 「学び合いのある授業づくり」
- <育ちの連携> 「体験交流活動の充実」「人権教育の推進」
- <外部との連携> 「高社小・中の9年間を支える地域との連携」「高社小・中の学校間連携」